

台風第12号への対応に関する検証会議について

1 検証会議の内容

先般の台風第12号への対応に、市町村が把握した被害情報の総合防災情報システムへの入力遅れなど、様々な課題が明らかとなったことを受け、次のとおり特に被害が大きかった岡山市、倉敷市、玉野市と検証会議を開催した。

- ・開催日時 平成23年9月30日（金）
- ・参加自治体 岡山市、倉敷市、玉野市、岡山県
- ・3市と県から提出された主な課題等

区 分	提出者	主な内容（各市・県の課題と取組）
防災配備体制	倉敷市	・問い合わせが集中し対応に追われた。災害対策本部の体制強化が必要だ。
	玉野市	・職員の増を図ったが休日で集合に時間を要した。職員体制を見直す必要がある。
県総合防災情報システム 情報収集・伝達体制のありかた	岡山市	・7,000件以上の電話で災対本部へ繋がらないこともあった。電話回線の適正化、国・県との共同チーム等、体制強化が必要。県民局からの職員派遣もお願いしたい。
	倉敷市	・電話対応や情報確認等のため入力が遅れた。担当者の増が必要。県民局からの職員派遣も必要だ。 ・今後も早い段階で消防防災ヘリからの情報提供をお願いしたい。
	玉野市	・隣接市の道路情報等がないため問い合わせに苦慮したので、道路情報入手について県と協議したい。
	県	・県総合防災情報システムへ迅速に入力できるような体制の構築を要請した。県民局等職員の派遣も必要に応じ行う。 ・県総合防災情報システムへの新規接続ができなくなった。直ちにプログラムを改修したが、併せて今後アクセスビリティの向上に努める。
避難勧告等の発令	倉敷市	・現在の発令基準の再検討や市民への周知が必要だ。
	玉野市	・全域に勧告を出したことへの問い合わせ等があった。勧告の意味合い等を周知していく必要がある。 ・エリアメール等、情報発信の方法を検討したい。
	県	・勧告等に比べ実際の避難者が少なかったことの検証や改善を要請した。

区 分	提出者	主な内容（各市・県の課題と取組）
避難所の開設 ・運営	岡山市	・ 県有施設の避難所指定を協力願いたい。
	倉敷市	・ 沿岸部の避難所は人員配置等スムーズだった。道路冠水や崖崩れで開設を取りやめた避難所もあり、今後検討が必要だ。また、避難所に毛布、ラジオ等の配備を行う。
	県	・ 避難所の指定、開設時の運営等の検証と改善を要請した。
水防活動等	岡山市	・ 県管理河川の早期整備、大規模浚渫等をお願いしたい。 ・ 水防警報発令基準の工夫や早期解除タイミングを検討してほしい。 ・ 水門等へ河川監視カメラの設置等を検討願いたい。
	玉野市	・ 県管理樋門、水門の管理体制強化をお願いしたい。 ・ 児島湖水位の管理における県市協力体制を進めたい。
その他	倉敷市	・ 山腹崩壊危険地区がハザードマップへ記載されていなかった等、内容更新の必要がある。

2 今後の予定

今後、検討を要する課題については、それぞれ独自にあるいは県と市が協議して具体的な改善策を検討し、10月中に予定している第2回の検証会議へ検討結果を持ち寄り意見交換等を行うことで、県市の防災体制の強化に繋げていくこととする。